

質問回答

2017年7月10日

「2017年度案件別外部事後評価:パッケージⅡ-7(ウガンダ、コンゴ民主共和国、ルワンダ)」

(公示日:2017年6月28日/公示番号170405)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	p.23 別紙 2/2 第2業務の目的・内容に関する事項	コンゴ民主共和国案件はキンシャサのみでの調査を想定していますが、地方校の教官をキンシャサに呼んでヒアリングを行う場合、その交通費・旅費を現地業務費で計上してよいでしょうか。	業務指示書記載の通り、その必要がある場合はプロポーザルで提示いただき、本見積りに含めてください。
2	p.28 第3業務実施上の条件	バーチャートの現地調査は概ね2か月×2名(4.0MM程度)と見えますが、本文での想定業務量は現地5.01MMとなっています。5.01MMの想定が正しいでしょうか。また、全体業務量の範囲内であれば、現地業務量が想定より減少してもよろしいでしょうか。	業務指示書記載の通り、現地での業務量は5.01MMを目途としています。国内、現地での業務量配分は全体業務量の範囲内で提示願います。
3	<共通条項>P.21 7.現地調査補助員の備上	(1)に記載のある「定性調査/定量調査」および(2)に記載のある「定性調査/定量調査の補助」には業務内容に違いがあるのでしょうか。	(1)と(2)で示す「定性調査/定量調査」自体には違いはありません。

以上